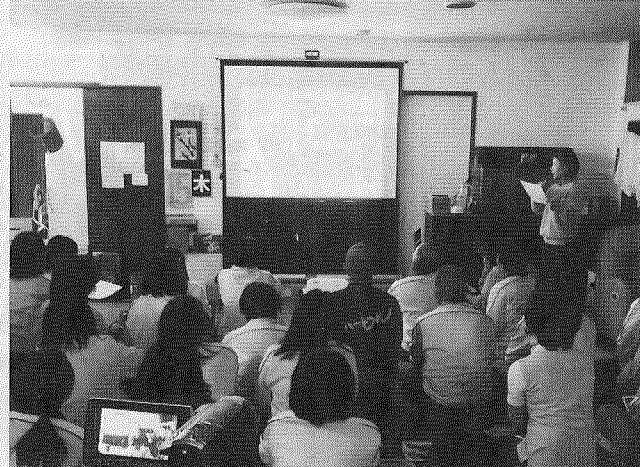


24.5.24

## 大田区役所「地域活性化」

## 組合

とめたハイブリッド手術  
室を県内で初めて設置し



内部研修にも力を入れ、資質向上に努めている

介護サービスなどのNPO法人ハートフル（高崎市石原町、櫻井宏子理事長）は、働きやすい職場づくりに向け、労働時間短縮や独自の休暇制度を取り組んでいる。今年度は有給の特別休暇を拡大。介護業界では画期的な、パートスタッフと常勤者の共通処遇制度も導入する。（松本英子）

ハートフルは99年9月設立。高齢者向け配食事業やたすけあい事業などの地域活動事業、訪問介護やデイサービス（3カ所）などの介護保険事業、障がい福祉サービス、移動支援などの障がい者自立支援事業を手掛ける。

スタッフは常勤（正社員）、パートを合わせ80人（女性63人、男性17人、4月19日現在）。20代から80代まで幅広い年代が働き、中でも60代が約4割を占める。

仕事と生活を両立しながら働くよう、定年なしや正社員への転換制度、各種休暇の充実を図ってきた。10年度には次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動

事長は、働きやすい職場づくりに向け、労働時間短縮や独自の休暇制度を取り組んでいる。今年度は有給の特別休暇を拡大。介護業界では画期的な、パートスタッフと常勤者の共通処遇制度も導入する。（松本英子）

ハートフルは99年9月設立。高齢者向け配食事業やたすけあい事業などの地域活動事業、訪問介

## パート・常勤の共通処遇制度も

NPO法人  
ハートフル

計画を策定。11年度までの2年間で、正社員の労働時間1日7時間と残業なし、育児短時間勤務制度を実現した。育児休暇度を実現した。育児休暇度を取得した男性職員は3人。

12年度から14年度までの第2期行動計画では、年休取得率を現状の27.7%から60%へ、特別休暇取得率を82%からそれ以上への向上を目指す。

年休は、月1回の計画的年休取得を図っていく。

特別休暇は夏季・冬季のほか誕生日、10年表彰、ボランティアなど多彩な取得を図っていく。

フレッシュしてもらう。初年度はくじ引きで休

一の第8回学術大会に合わせ、イシア文化ホール（県民院長が、「在宅緩和ケア」）

7736へ。



視覚障害を体験

講座には高崎市社会福祉協議会が協力。視覚障がい者の渡辺宏さんと、同社

## 障がい者への対応学ぶ

## 高崎高島屋が職員研修

のほか誕生日、10年表彰、ボランティアなど多彩な取り組みが実施。休暇中、法人からは一切連絡せずに、初年度はくじ引きで休

旭町、影山勝社長）は16日、「障がいのあるお客様への接し方講座」を開いた。高齢化が進む中、身体が不自由な人の来店も増えて、従業員が参加した。

は、2～3日前に聴覚障がいの客と筆談でやり取りした従業員から、接し方にに対する質問があった。

渡辺さんは、声掛けの大切さを強調。「回りの人間に聞きたいことがあっても、恥ずかしくて聞けなかつたり、タイミングを逃してしまることがある。『何

は、国均等待遇・正社員化推進奨励会を活用。パートとの共通処遇制度は、国均等待遇・正社員と同じ職務職位。

は、勤務年数・勤務評価・勤務時間の共通項目で行い、常勤とパートの差はだんだんなくなってきた」と話している。

高崎経済大学は19日、東日本大震災復興支援初からの目標だった。人事考課は勤務年数・勤務評価・勤務時間の共通項目で行い、常勤とパートの差はだんだんなくなってきた」と話している。

## 大学の震災復興支援

## 高崎経済大

## 浪江町長ら招きシ

免疫生物研究所

通期研究

策定支援、福

宮城県東松島市、清藤勉

スダック）は

3月期決算

発表した。前

利益面では中

に掲げた目標

13・6%減の

転換を果たし

売上高は

ポジウムで真交わされた。入学金や授業料が、教員有りの架け橋基上げ。大学や